

Mi Vida en México

この度、第49期日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修生として広島県の推薦枠より参加させていただいております、高野航太と申します。現在は、広島修道大学国際コミュニティ学部国際政治学科に在籍しており、国際政治学を学んでいます。以前から海外（特に中南米）に興味があったため、今回こうして研修に参加できることを非常に嬉しく思います。

日本から遠く離れたメキシコで過ごす10ヶ月間で、私が感じた事、経験した事をこのレポートを通して、お伝えできればと思っております。

驚きの連続。メキシコ生活1ヶ月目

メキシコに来て、まず衝撃を受けたのが車と人の多さです。私が住んでいる首都メキシコシティは想像以上の大都会で、どこに行っても車と人ばかり。この人の多さを広島で例えるならば、毎日がフラワーフェスティバル状態。それに加え、車の速度もかなり速く、日本のように歩行者が優先されることがほとんどないため、歩くときは事故に遭わないために、かなり気を付けていなければいけません。また、メキシコの治安は、日本とは比にならないほど悪いため、外出時は注意が必要です。

そのような日本と大きく異なった環境に圧倒された一方で、メキシコ人のフ

レンドリーさにも触れることも多々あります。道端などで顔を合わせたら、初対面でも関係なく会話が弾み、道を尋ねたら、とても丁寧に教えてくれます。公共交通機関の Camión（カミオン）と呼ばれる路線バスでは、運賃を運転手に直接手渡しするのですが、乗る人が多くて直接渡せない人がいれば、リレーのようにお金が回ってきて、運転手さんの手元に届きます。危険な面が多々ある中で、メキシコの人々の温かみに触れることも多い毎日です。



メキシコシティの様子



市場は特に人が多い

秋祭りで広島・日本を広める

今回の研修の目的の一つとして広島の魅力を広めるということを掲げています。私自身、幼い頃からカープ・サンフレッチェの大ファンで、好きな食べ物はお好み焼きと汁なし担々麺。県の推薦枠で参加させていただいているということもあり、メキシコで少しでも広島の魅力の発信に貢献できればと思っています。そんな中、メキシコシティで開催される秋祭りに、広島県人会の平田ビクト

ルさんからお声がけいただき、広島県人会が出店するお好み焼きの屋台を手伝うことになりました。この秋祭りでは、様々なブースがあり、多くの人で賑わいました。ステージからは日本の歌が聴こえてくるなど、まるで日本にいるかのような感覚になりました。

広島県人会が出店したお好み焼きは大繁盛でした。メキシコ人にとって“okonomiyaki”というワードに馴染みがなかったようで、焼いている最中に「これがお好み焼き？ どうやって作るの？ このソースは何？」とよく話しかけられました。二日間で数え切れないほどのお好み焼きを作り、たくさんの方に広島の味を堪能してもらえたのではないかと思います。メキシコ人が日本、広島の文化に興味を持ってもらえていることを実感し、とても誇りに感じました。今後も、広島の魅力を発信する機会があれば、積極的に行っていきたいです。



大勢の人で賑わった秋祭り



県人会の方々と協力して作りました

メキシコの大イベント「死者の日」

メキシコのイベントと言えば、“Día de Muertos”「死者の日」です。ディズニー映画の「リメンバーミー」を思い浮かべる人も多いのではないのでしょうか。私は、行きの飛行機の中で初めてリメンバーミーを鑑賞し、しっかりと予習しました。

死者の日とされるのは11月1、2日ですが、それまでの約1週間は、メキシコ中が死者の日一色。週末にはパレードが行われたり、各家庭やレストランなどでは華やかな飾り付けがされていて、メキシコならではの雰囲気を楽しむことができました。私が通う語学学校 CEPE にも飾り付けがあり、留学生の私たちはみんな立ち止まって、写真を撮っていました。

11月1日は近所の公園で開催されたイベントへ、2日は現地の学生とコヨアカン (Coyoacán) へ行きました。どこに行っても、音楽が絶えず聴こえ、老若男女問わず、その音楽に合わせて歌ったり、踊ったりして、とても盛り上がりました。

死者の日のコンセプトは、日本のお盆と似ていますが、お盆とは違い、死者の帰りを明るく迎え、死者と共に2日間を楽しく過ごすことが大切だそうです。それが、街全体の華やかな飾り付けやパレード、パーティーに繋がっているのだと感じました。

実際に現地の人の中に混じり、雰囲気を楽しんだことで、その行事の背景や文化をより濃く学ぶことができました。



語学学校 CEPE の飾り付け



10月29日に行われたパレード



2日目のコヨアカンでの1枚

メキシコに来て約1ヶ月、日本にはない光景ばかりを目にして、非常に刺激的な毎日でした。また、来月内容の濃いレポートが書けるよう、色々な経験をしていきたいと思います。